

災害発生！！

## 送迎・外出中の対応

利用者の安全確保

支援員の対応

利用者への対応・留意点

- ・地形や状況を判断し、崩落や落下物等の恐れがない安全な場所に送迎車を停める。
- ・的確な声掛け

- ・支援員は車内の安全確保を行う。
- ・姿勢を低くするように声掛けする

最寄りの安全な場所へ避難

避難場所決定と指示  
\*津波危険地域は迅速な避難を最優先

- 安全が確認でき次第降車
- ・安全が確認できるまでその場で待機できるようにする。
  - ・地割れした道路、倒れた電柱等に注意をして、近づかないように声をかける。
- ※外出先の避難場所を想定して外出する。必要に応じて施設へ連絡を行い避難場所等について情報収集する。

- 全利用者避難誘導
- ・安全な場所が確保でき次第避難誘導

- ・避難誘導に周りの助けが必要だと判断した場合、助けを呼ぶ。
- ・出来るだけ利用者と離れず集まって行動する。

安全確認

施設への連絡  
避難後の対応

- ・人数の確認、点呼と安全確認
- ・負傷者の確認と応急手当
- ・施設へ連絡し状況の報告と対応の決定

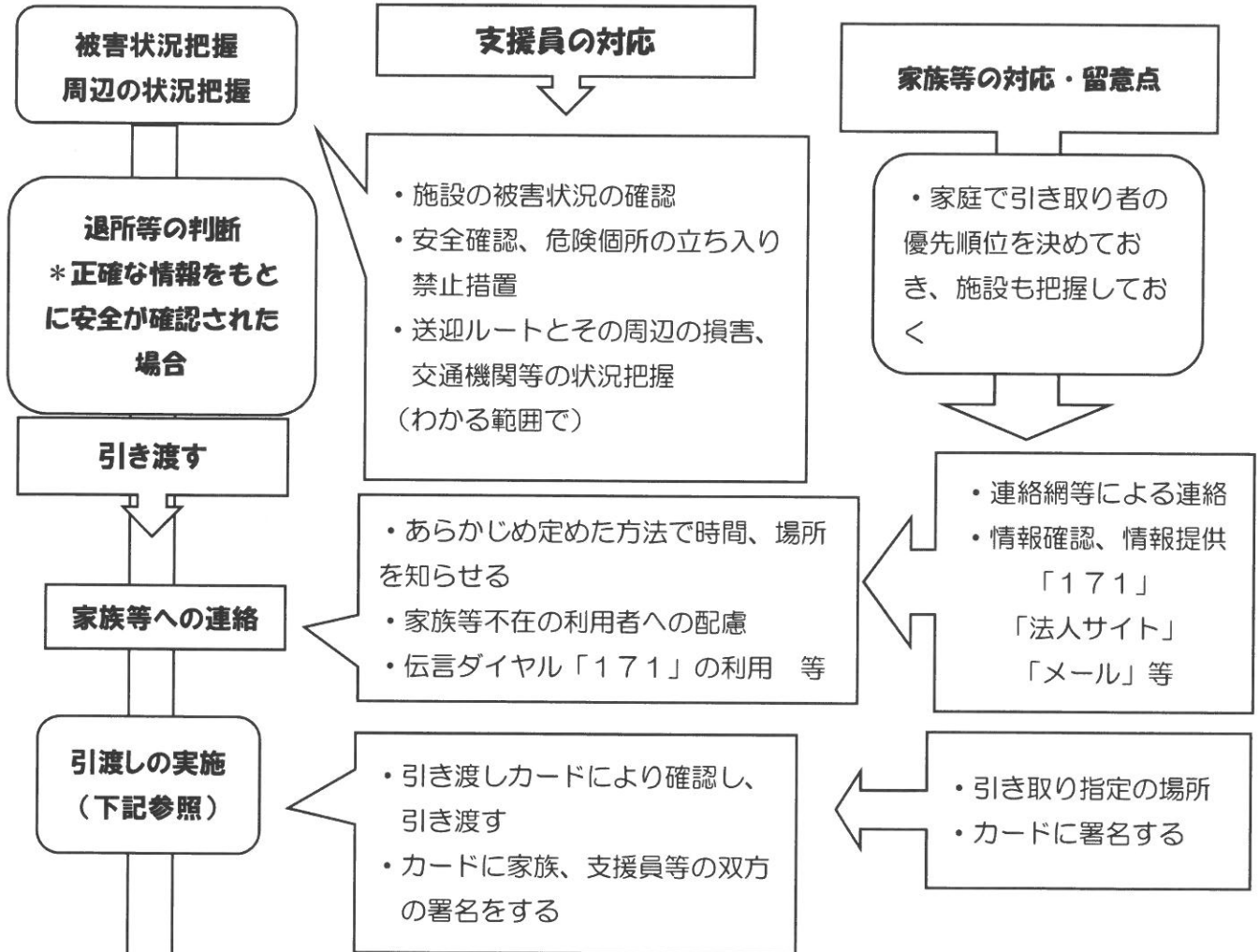
- ・施設に帰ることが危険と判断される場合は、安全な避難場所に待機し、施設と連絡を取り合い、指示を受ける。

家族等への連絡

家族等への引き渡し  
\*別紙

- ・引き渡しカードを準備
- ・家族等と連絡がとれない場合は、各施設（避難場所）で保護する。（外出先の避難場所）

# 家族等への引き渡し



## 施設での引渡し～流れ～

- (1) 利用者は施設内の安全な場所で待機する。
- (2) 引渡し開始時
  - ・引き渡しカードをもとに引き取り者を確認し、利用者を引き渡す。
  - ・行方不明の利用者に関しては施設長が対応をする。
  - ・負傷した利用者については、家族等へ状況を説明する。
- (3) 家族との連絡が取れない場合、施設で引き続き保護する。  
\*通常時の災害適応する